

8. 学生生活について（3）

（3）あなたが現在の学生にアドバイスするとしたら、上の項目のような大学時代の学習や経験をどの程度すすめますか？

総合科学部

- ・勉学も大事だが、課外活動やアルバイト等の社会経験を社会人になる前に積むことがとても大切だと思う。
- ・自所属の学部だけでなく、サークルや部活で他学部他学年の学生とも交流することは自分の考え方を広げることにつながるのでお勧めする。
- ・やれることは全てやっていた方がいいです。
- ・学生でしかできないことを堪能してください！
- ・自分が何に興味を持ち、何を深めたい、どう関わりたいかを言語化できる程度にはすべての活動にしっかりと触れてみた方がいいと思う。授業の履修は途中で辞めてもいいので、可能性を広げるのが良い。

文学部

- ・将来、専門知識をそのまま活かせることは少ないかもしれません、研究の手法や思考のプロセス、物事の捉え方、文章表現の仕方、対人関係等、どこかしらで役に立つところがあるので、広く興味を持って、なんでも挑戦してみてほしいと思います。
- ・今しかできないことは大いにする。
- ・部活動、サークルには入ると良いと思います。部活動で出会った仲間は先々も関係が続いています。また、スタートプログラムで出会った友達も続いている関係の一つです。
- ・お金がなければ、将来的に返済可能な範囲で借金をしてもいいので、どんどん海外旅行や留学へ行ってください。皆さんが就職したのち、業界・会社・部署の文化によっては、まったく休みが取れない可能性もあります。3日以上の休みを取れるのは今が最後かもしれない、という意識を持ち、地球の裏側までも足を運び、見聞

を広げてください。

- ・自分の興味のない分野や就職先についても、授業、読書、アルバイト、友人との関わりを通して、学んでおくべきだ。
- ・在学中、学べる時間や環境があるうちに専門知識をじっくり学んだほうが良い。また、語学留学も機会があればぜひ参加してほしい。学部やサークル活動を通じて人脈を広げてほしい。

教育学部

- ・実践的な授業力向上のために経験を積むことを勧めます。（学校公開デーに参加してみるなど）
- ・とにかくいろいろなことに手を出して、チャレンジしてみてください。
- ・可能な限り人との繋がりを持つことは人生の財産になるので、人間関係の構築は1番優先した方がいいと思う。
- ・「行動すること」これに尽きると思います。
- ・文章の作成能力やプレゼンテーションは、仕事をする上で必要なため、できるようになっておいた方が良い。そのために、教職員の方と密にコミュニケーションを取り、添削していただく必要がある。授業外での活動全般は、人生経験を豊かにし、多様な価値観に触れることができるために、体力や時間との兼ね合いを見ながらできるだけ参加したほうが良いと思う。教養や時事については、絶対必要ということはないが、他者とコミュニケーションを取るときに話の種になることがあるため、広く浅く知っていると役に立つと思う。
- ・社会人になってからでは中々できないような経験を、大学生のうちに積んでおくことを強く勧める。1つはアルバイト。社会人になってからは限られた仕事に注力しなければならないが、学生時代は複数の仕事を経験出来るということがメリットである。日常生活で関わる様々な職業を一度経験してみたいという欲望は、学生時代にこそ達成すべきだと考える。それらを経

験することで、自分が客として接する際の視点や態度が変化し、よりよい社会を築くことにも繋がる。2つ目は留学だ。これも社会人になると、海外へ行ける期間はせいぜい2週間であろう。長期間に渡り海外で生活し、その言語に自らを浸し習得することは、学生時代にしかできない貴重な経験の1つである。そのようなタイミングで時間とお金を使うことが、とても有意義であると思う。

- ・とにかく時間があるので、語学や、仕事につながる知識や、自分の興味のあることサークルや趣味などにとことん時間を使うべきだ
- ・自分の興味に合わせて、やりたいことに一生懸命取り組むのがいいと思います。そのとき一生懸命頑張ってやったことや興味を持って学んだことは何かしらその後の人生で役に立つと思います。なにより、同じ興味を持った人たちと友好関係が築けるのは大学ならではなので、楽しく四年を過ごして欲しいと思います。
- ・とりあえず授業は出てください。社会に出ると、フレキシブルな働き方ができるとはいえ、責任感を持って仕事をしなければなりません。学生でできることは、責任感を持って授業を受けることです。
- ・周りの人と比べたり、必ずしも他者と同じ時間を過ごしたりする必要はないので、自分が「やりたい！」と思うことを見つけて一途に取り組んでいくことが大切なではないかなと思います。やりたいことが早く見つかれば見つかる程、自分の学びや成長の機会が拡大されると思います。自分の時間を自由に使えるのが大学生の特権だと思います。
- ・精一杯遊んで勉強してください。
- ・大学生だからこそできることを悔いなくすることを勧めたい。
- ・教員になるなら、たくさんアルバイトというか、社会経験をつんでもよかったですかなと思う。大学の中だけでの付き合いだと社会人のマナーを学

べていなかった。

- ・大学生活では「遊び」の部分にスポットがあたることが多い。僕自身もそれは大切なことだったと思う。(特に、恋愛を経験することは大切だと思う)しかし、学部生の本分は「学ぶこと」だと思うし、そこで学んだことが社会に出た時に役に立つのだと思う。また、大学の講義に積極的に参加したりその分野における専門家(教授)の話を吸収していくことは大学でしか経験できないことだから、そのような貴重な機会を大切にして過ごしてほしいです。
- ・社会に出ても役立つし、人生を豊かにするので、いろいろなことを経験した方がいい。
- ・社会人になって、勉強したことはもちろんですがそれ以上にアルバイトや行事の運営などの経験、個人指導をしていただいた時の経験などがさまざまな場面で生かされていると感じます。忙しいとは思いますが、できる限りさまざまな経験をした方がいいなと思います！
- ・大学外の活動にも目を向けるべきだと思います。ハワイ大学の医学部の言葉に *all knowledge is not learned in just one school* というものがあります。広大内でも多くのことを学ぶことはできますが、外に出たときにのみえられるもの、そこでえられる刺激によって中での学習が変わると思います。
- ・実社会とつながる経験ができる環境に身を置いた方がよい。自分は教育学部に在籍していたが、東広島市役所職員や地域活動を行っている教員(他学部)との出会い等により、学内での人間関係や学びに完結せず活動している学生と多く出会うことができた(2016年頃の話)。それがより納得感のある進路選択につながった。
- ・とにかくいろんなことにチャレンジしてみてください。チャレンジしたことは決して無駄にならないし、結構記憶に残っています。
- ・4年間はあっという間です。自分はこの4年間これは頑張ったと言えるものができるような大

学生生活にしてほしいです。自分の大学生活に個性を！

- ・社会人になってから自分の自由に使える時間は大幅に減る。たとえ向上心があったとしても、目標とするレベルに達するまでに多くの時間を必要とする。そのため、自分がやってみたいと思うことは一通り学生生活のうちに済ませ、充実した日々を送ることをお勧めする。その日々があれば、仕事で煮詰まった時や人生の進め方に迷った時に、どう楽しむか、どう過ごすか選択肢が増える。技術はあるに越したことないが、自分が心から楽しいと思い熱中できること、心から信頼できる仲間を作ることが最善だと思う。
- ・就職すると、とにかく自由に使える時間が減るので、教養を身につけたり、さまざまなことに取り組んだほうがよい。
- ・アルバイトやサークル活動、ボランティア、留学など、実際に自分が動いて経験するものは大いにするべきだと思う。これが大学生活で得られる1番の経験になると思う。また、友達との関わりも思う存分して、楽しむことも悔いなく充実した大学生活を送る上で大事なことだと思うし、そこで人づきあいを学び、そのつながりが社会人になってからもお互いの支えとなっている。机に向かう勉強は、自分は大学生活では足りなかつたと感じているが、語学学習、お金のこと、歴史、政治についてもっと学んでおきたかった、特に時間を要する語学については真剣に机に向かう勉強も必要だったと感じている。
- ・友人や先生とたくさん意見を交わし、体を壊さない程度に色々なことを経験して下さい。学生の感覚と社会人の感覚は違うことを念頭に置きつつ、自分でさまざまなことを決め、自由にできる学生の期間を満喫してください。また、大学図書館や各専攻の図書館は、貴重な文献の宝庫です。ぜひたくさん利用して下さい。
- ・学業とのバランスも考えながら、やりたいと思

ったことは、どんどんしていくことがおすすめです。

- ・迷ったらまずはやってみることが大切だと思います。
- ・いろいろな人と関わることが大切だと思う
- ・大学でできた友人は一生の友になります。気の合う友達ができたときは大切にして下さいね。
- ・絶対留学はした方がいい。多少借金しても海外旅行に行っておいた方がいい。
- ・時間がたくさんある中で、授業料も払っているので、やるべきことはやった方がいい
- ・アルバイトはよい社会経験になるので、ぜひ経験すると良いと思うが、多すぎると勉学が疎かになったり、健康管理に支障をきたすこともあるので、バランスを大切にしてほしい。
- ・興味や関心のあること何でもやったらいいと思う。社会人になるとなかなか時間が取れないで。
- ・自分が将来、どんな道に進むかわからないと思いますが、集中して学んだことは必ず役に立ちます。また、学び以外の経験(アルバイトやサークル)は人として自分を強くしてくれます。限られた4年間ですので、やりたいことは全てやる！ぐらいの勢いでたくさんの経験を積んでください。

法学部

- ・たくさん旅をして、見聞を広めてください！
- ・やりたいことをやって、自分なりに楽しく過ごせば良いと思う
- ・学生時代の授業、取組が、思ってもいなかった形で将来生きることもあるので、卒業後、役に立つ立たない、就活に活けるかという視点にあまりとらわれすぎることなく、やると決めたこと、とると決めた授業には、時に全力で取り組んでみてください。
- ・立地からして、交友関係は自ずと構築されていくとは思うが、自ら学内から外の世界に飛び出

す機会は必要である。それは、インターンでも構わないし、自ら興味を持った領域の学問、趣味でも構わない。そうしないと、似たような考え方を持つ画一的な集団となり、首都圏の学生に就活時に太刀打ちできない。(全国規模の企業への就職を目指さないのであれば別)

- ・沢山学び沢山遊んでください。
- ・自分の興味ある分野の勉強はもちろん、課外活動にも積極的に取り組むと良いと思います。
- ・時間がたくさんあるうちに、サークル、アルバイト、ボランティア、旅行など幅広い経験をする方が望ましい。
- ・たくさんの経験を積極的にして欲しい
- ・機会を作り、何事にも積極的に参加することを勧めたい
- ・卒業後の目標設定を具体的に行い、それに合わせた行動をとるべき。
- ・授業での積極的な参加はもちろんのことだが、例えばボランティア活動などで学生以外と関わる機会をもつことが、大学生のうちは大切と思っている。

経済学部

- ・卒業後は否が応でも労働に従事する数十年を過ごすことになるので、在学中は、勉学に専念する貴重な機会だと思います。
- ・社会人になると勉強だけではなく、むしろコミュニケーションや色々な人に積極的に関わることで自分の視野を限定せずに広げて欲しい。
- ・どのような仕事をするかによるが、語学やITスキルは求められることが多いので、留学や資格勉強、関連授業の受講などは積極的に取り組むといいと思料。業界を幅広く見るツールとしてインターンシップに積極的に参加するのも良い。
- ・卒業したら遊ぶってことのハードルが上がるのと、好きなだけ遊ぶべき。人間関係は続く人は続くし、そこで終わってもいい思い出にはなる。

- ・自分にとって何が重要か、社会にとって何が重要か整理をして優先順位を考えること
- ・就職活動を積極的に行う
- ・全てに全力を尽くしてください！
- ・友達はたくさん作っておいた方がいいと思います。学生生活でも社会に出てからも役に立ちます。また起業できるならした方がいいと思いますし、活躍している大人の手伝いもいいと思います。学生のうちしかノーリスクでできないことがたくさんあります。
- ・大学時代の勉学をはじめ、どんな経験も全て仕事に役立つので、参加できる行事には積極的に参加しさまざまな経験を積んでおくことが重要。また、仕事では文章能力や目上の人々に話す力、語彙力など教養が備わっていることを基本に進んでいくため、ゼミの担当教員や授業の先生方といったさまざまな大人と積極的に話す経験を積んでおくと苦労が減ると思う。
- ・色々な経験を積極的に積んだほうが良いと思います。今しかできないことに積極的にチャレンジしてください。
- ・興味のあることは貯金が尽きるくらいまではやっておいた方がいい、とアドバイスします。大人になると時間と体力が圧倒的に不足します。ただし、リボ払いなど、高金利の借金はすべきではないので注意してください。

理学部

- ・文章作成能力やプレゼンテーション能力、語学(英語)に関するスキルは早い内から身につけておくべきだと思う。学部の授業等でこれらのスキルを磨く授業があれば積極的に受講することを薦める。
- ・アルバイトはした方がいい。たくさんの人と関わった方がいい。
- ・大学生の間は自由に使える時間が沢山あるので、色々なことに挑戦して知識や経験を深めることがその後の人生を豊かにします。成人してから

の刺激的な遊びなど、様々な誘惑があると思いますが、自分の理想とする生き方を一度真剣に考えてみてください。私は怠惰に遊び、有意義とは言い難い大学生活を過ごしました。4年間の経験の差は意外と大きいものです。

- ・アルバイトは社会経験になって、やって良かったなと思います
- ・学生の頃から、100%の力で人生と向き合えばよかった、と今は思います。
- ・貴重な機会がたくさんあるので、恐れず行動していただきたい。社会人になると、時間、お金、家庭などの制約があり、やりたくても一度に全部はできないので、興味があることは今のうちにやった方がいいと思う。
- ・インターンシップへの参加を、本当は薦めたくないが薦めなきやいけない社会なので薦めたい。
- ・人との繋がりを大切にすることを徹底してすすめたい
- ・英語は日々の積み重ねで上達するものと思うので、早いうちから勉強すると良いと思います。先生に積極的に質問しに行くと、授業だけでは得られないものが得られると思います。

医学部

- ・基本的な知識や技術を履修し国家試験に合格することはもちろんだが、サークル活動やアルバイト、交遊を通して充実した時間を過ごしてほしい
- ・文章の書き方やプレゼンテーションの仕方を学んでほしい。広い視野を持って興味のあることはなんでもしてほしい。短期留学はいろんなことを学べる良い機会である。
- ・留学で異文化について学ぶ
- ・時間のある内にしかできないこと(留学や旅行、アルバイトなど)に積極的に参加すること
- ・コミュニティに属すること、あるいは教員との交流を通じてコミュニケーション能力が自ずと磨かれると思うのでおすすめします。

- ・色々な経験をしておくべきだと思います
- ・情報があふれる社会の中で自分が興味あるものをリスク少なくできるのは学生だと思います！0を1にしておくだけで世界はかなり広がると思います。是非興味あることはとにかくやってみるのが一番だと思います。
- ・アルバイトや、サークルも大事だが、授業には毎回ちゃんと出席した方がいいと思います。
- ・大学時代には大学時代にしかできないことがあると思うので、自分の将来像に向けて必要な学習や活動を行いながらプライベートも充実させていってほしいです。
- ・選り好みせずできるだけ多くの活動を行うことを勧めたい。
- ・学業は、最優先ですね。

歯学部

- ・英語はきちんとしておくと論文がある程度読めるので困らない。伝わる文章が書ける、伝わる資料が作れる力は学生時代に身につけておくべき。
- ・講義の価値は学生の時には分からぬ事も多い。卒業してしばらくたってその価値に気づくこともある。いつまでも生きている訳では無いので、その時間その時間を有意義に過ごすことが大切であり、人生に彩りを与えると思う。
- ・短期留学や、サークル活動で留学生と関わることで、大学時代の自分の視野が大変広がり、価値観が変わった。授業やアルバイトだけでなく、大学生のうちしかできない色々な体験にぜひ挑戦していただきたい。
- ・一生涯の友達を3人作れたら最高。授業は人の話を聞く修行。興味が全部持てるわけでは無いけど、この力をつける修行。部活は一生もの。絶対やるべき。バイトも今しかできないから良いと思う。大学に将来少しでも残ることを考えているなら、特別真面目である必要もないとは思うけど、一成人した人として、失礼のないよ

うに先生も含めて全ての人と接するようにしたら良いのではと思う。

- ・他への関わり方を学び、ずっと交流できる友人を作るのがいいです

薬学部

- ・自分はアルバイトをせずに就職したが、アルバイトはやっておいた方が良かったと思った。組織の一員としての認識、目上の人との付き合い方、適切な金銭感覚、仕事量の見積もりや分配、マルチタスクの調整等社会で生きていく上で必要な経験が自分には足りないと思った。

工学部

- ・短期留学、スタートは留学ハードルが低く、安価なのでおすすめ。引率の先生方もきちんとされていたので良かった。
- ・もう少し成績を良くすることと、教養についてももう少し身につけるようにアドバイスしたい。それ以外についてはできることはできたと思う。
- ・会社に入ると大学の先生のセミナー受講やお話を聞くだけでかなりのお金が発生するため、学生時代に聞けることは聞いておくと良い。広島大学で友達を作ると日本の至る所出身の人がいるから、社会人になって会いに行くがてら旅行にもなる。アルバイトやサークルなど頑張ったことがあると就活などで役立つ。
- ・大学の講義は言うまでもないが、それ以上に人の付き合い方の「訓練」を積んで欲しいと思う。こればかりは練習しない限り身につかないうえ、会社や学会での交流で絶対に必要になる。大学はある意味交流のいい練習の場だと思うので、学びや遊びを通していろんな人と交流してほしい
- ・どうしても講義が学生生活の中心になりがちだが、それ以外の時間にこそ社会で役立つ情報が得られると考える。
- ・専攻分野の学習を第1にサークル活動や学内外

の活動を並行して充実した学生生活を送って欲しい

- ・生活リズムの構築と必ず講義に出席し、サークル活動へ参加することですね。これができないと大学生活が苦行と化します。
- ・授業をはじめとして様々な分野に興味を持って触れてみることが重要かと思います。社会人になると経験できないこともあると思います。
- ・英語を身に付けることをオススメします。人口が減少している中で国際競争力を高めるためには海外に目を向ける必要がありますが、海外とのコミュニケーション手段は英語になります。いくら専門スキルを磨いても相手に伝わらなければ意味がありません。広島大学出身で就職する会社は国際企業が多いので、英語を身に付けておくと将来の仕事の幅も広がりますし、会社からも重宝されますし、他の学生よりも優位に立てるます。英語を身に付けるには時間がかかりますので、時間のあるうちに学習することをオススメします。社会に出ると答えのない問題を解決しなければなりません。そのためには主体的に自分で考え実行することが一つポイントだと考えています。サークルでも研究でもよいですが、失敗してもよいので、自ら考えてやりきることを経験しておくとその後の人生において役立つと思います。
- ・アルバイトはした方が良い。お金を稼ぐ大変さと周囲への立ち居振る舞いを学んでいる方が良い。想像以上に子ども大人が多い。留学は短期で行ってもただの旅行、行くなら年単位で行かなければあまり意味がない。文章能力やプレゼン能力は社会において非常に重要。自分がいくら大きな成果を出しても認めてもらえない結果として認められない。そのため、プレゼン能力は高い方が得をする。
- ・一番時間があるタイミングなので、やりたいことやあこがれを全力で試し、発散させてきてほしい。

- ・大学生は友人との時間やサークル、アルバイトを充実させて楽しむことに夢中になると思いますが、授業への真面目な参加や積極的な知識習得も怠らないことをアドバイスしたいです。特に大学の専門性を活かした仕事に就職するなら、なおさら「あの時やっていたな～、もっとちゃんと学んでおけばよかったな～」という場面が多々あると思います。
- ・色々な経験をした方がいい
- ・よく遊びよく学んでください。希望の研究室入ろうと思うと GPA が非常に重要です。今興味がなくても、いざやりたいこと興味があることができた時に選べないのは後悔します。

生物生産学部

- ・専門的な学習をする機会は少なくなるため在学中に存分にしておいた方がいい。また語学や社会経験、プレゼン能力などが必ず必要になるので学生のうちに身につけておいた方がよい。
- ・留学に興味がある方は、学生の内に、長期留学にチャレンジするべきである。単に、講義を受講して、単位取得、部活動、アルバイトだけの生活は非常にもったいないと感じた。学生時代しかできないことにチャレンジして欲しい。
- ・とりあえず学部の人だけでも良いので頻繁に連絡を取り合える仲にはなりましょう。
- ・積極的に教授、友人、色々なコミュニティと関わりを持つことで、社会に出た後の財産になります。